

保存樹木の移植について

樹木の概要

呼 称 旧検察庁官舎のシダレザクラ
 所 在 地 青葉区大手町
 指 定 日 昭和58年3月3日
 推定樹齢（指定当時）300年
 樹 高 15.4m
 幹 周 3.7m



保存樹木指定までの経緯

かつて伊達藩の武家屋敷であった1667年（寛文7年）頃に植えられたとされ、現在推定樹齢約330年のシダレザクラである。

平成24年度までは検察庁官舎が建ち、その庭園内にあったが、昭和57年に、仙台地方検察庁より保存樹木指定の依頼があり、その歴史的背景や優れた樹容により、同敷地内にあるサルスベリと共に指定に至った。

移植の必要性

国有財産の売払により民間所有地となり、敷地中央に位置するシダレザクラは、土地の有効利用のため（裏面参照）移植が必要となった。そのため、新たな所有者において同敷地内の支障とならない位置へ移動する。

移植方法

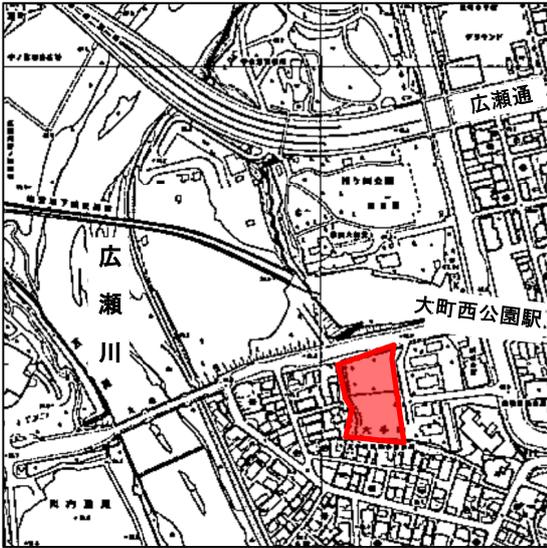
移植前に、水分や養分をより活発に吸収する新しい根を伸ばすために根回しを行う。移動の際に根元が崩れないよう根鉢を作り、レールに乗せて移植先へと移動させるコロ曳き工法で行う。移植方法の中では樹木への負担が少なく安全で確実な工法と言われている。

施工スケジュール

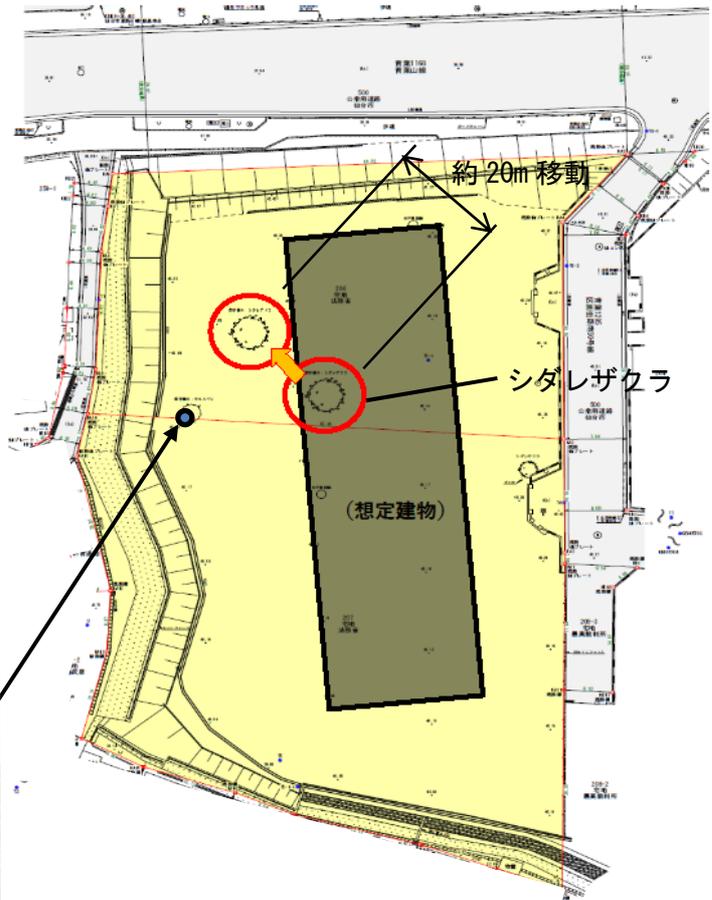
年 月	平成30年							平成31年度				
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
樹木移植	根回し			養生期間						移動		
文化財調査												

※この敷地は埋蔵文化財包蔵地であり発掘調査を行うことになっている。

旧検察庁官舎位置図



配置図



旧検察庁官舎のサルスベリ



根回し状況写真



コロ曳き工法の施工事例写真

